

2021年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月8日
東

上場会社名 株式会社エンビプロ・ホールディングス 上場取引所
 コード番号 5698 URL <https://www.envipro.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐野 富和
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理管掌 兼 経営企画部長 (氏名) 竹川 直希 (TEL) 0544-21-3160
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 (通常開催を見送り、動画配信予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第2四半期の連結業績(2020年7月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|-------|------|-------|------|------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年6月期第2四半期 | 16,615 | △11.1 | 532 | △19.5 | 713 | △4.7 | 489 | △11.0 |
| 2020年6月期第2四半期 | 18,691 | 7.6 | 660 | 57.8 | 748 | 31.2 | 549 | 75.0 |

(注) 包括利益 2021年6月期第2四半期 501百万円(△6.3%) 2020年6月期第2四半期 535百万円(78.0%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年6月期第2四半期 | 33.21 | 31.83 |
| 2020年6月期第2四半期 | 37.54 | 35.89 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2021年6月期第2四半期 | 26,356 | 12,389 | 45.6 |
| 2020年6月期 | 25,913 | 12,012 | 45.0 |

(参考) 自己資本 2021年6月期第2四半期 12,023百万円 2020年6月期 11,654百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年6月期 | — | 0.00 | — | 10.00 | 10.00 |
| 2021年6月期 | | | | | |
| 2021年6月期(予想) | | | — | 15.00 | 15.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年6月期の連結業績予想(2020年7月1日~2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 35,700 | 5.4 | 1,000 | 26.5 | 1,250 | 33.7 | 870 | 44.5 | 59.00 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2021年6月期2Q | 15,051,227株 | 2020年6月期 | 15,051,227株 |
| ② 期末自己株式数 | 2021年6月期2Q | 293,314株 | 2020年6月期 | 329,326株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 2021年6月期2Q | 14,734,554株 | 2020年6月期2Q | 14,649,331株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提になる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信 (添付資料4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」) をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 11 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 11 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 11 |
| (会計方針の変更) | 11 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 11 |
| (追加情報) | 11 |
| (セグメント情報等) | 12 |
| (重要な後発事象) | 14 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当グループの事業領域においては、長引くコロナ禍により不透明な状況が続くなか、国内外の生産の持ち直しの動きに加え、中国における鉄スクラップ輸入規制緩和の動きを背景に鋼材需要は増加しました。一方、鉄スクラップの国内流通量はコロナ禍の影響もあり供給が需要と均衡するまでには至らず需給は逼迫しました。これらのことから鉄スクラップ価格（東京製鐵田原海上特級価格）は前連結会計年度末24,500円から当第2四半期連結会計期間末43,000円まで上昇し、当第2四半期連結累計期間の平均価格が28,008円と前年同期24,302円を上回って推移しました。非鉄金属価格においては、主要取扱い品目である銅・アルミのうち、銅の平均価格は前年同期を上回り、アルミの平均価格は前年同期を下回って推移しました。

このような環境の中で、当第2四半期連結累計期間においては「持続可能社会実現の一翼を担う」のミッションステートメントのもと、コロナ危機に対し「キャッシュ・イズ・キング」、「仕事のリストラ」、「存在意義の再確認」を基本方針に掲げ、基盤の強化を進めてまいりました。

以上の結果、売上高は16,615百万円（前年同期比11.1%減）、営業利益は532百万円（前年同期比19.5%減）、経常利益は713百万円（前年同期比4.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は489百万円（前年同期比11.0%減）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであり、売上高についてはセグメント間の内部売上高又は振替高を含めた売上高で表示しております。

セグメント別業績の概要

《売上高》

（単位：百万円）

| | 前第2四半期 連結累計期間 | 当第2四半期 連結累計期間 | 増減比 |
|-------------|------------------|------------------|--------|
| 資源循環事業 | 5,775 | 6,058 | 4.9% |
| グローバル資源循環事業 | 11,007 | 9,744 | △11.5% |
| 中古自動車関連事業 | 3,333 | 2,526 | △24.2% |
| その他 | 148 | 166 | 12.2% |
| 調整額 | △1,573 | △1,880 | — |
| 合計 | 18,691 | 16,615 | △11.1% |

《セグメント利益》

（単位：百万円）

| | 前第2四半期 連結累計期間 | 当第2四半期 連結累計期間 | 増減比 |
|-------------|------------------|------------------|--------|
| 資源循環事業 | 310 | 656 | 111.7% |
| グローバル資源循環事業 | 394 | 111 | △71.7% |
| 中古自動車関連事業 | 80 | 53 | △34.3% |
| その他 | 17 | 37 | 114.8% |
| 調整額 | △53 | △144 | — |
| 合計 | 748 | 713 | △4.7% |

（注）セグメント利益は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

①資源循環事業

前期に発生した廃棄物の国内還流の影響による最終処分場の逼迫問題はコロナ禍による廃棄物発生量の減少により緩和され、当グループの加工拠点においても廃棄物の処理に関して受入制限することなく操業は安定しました。また、鉄スクラップ価格が急激に上昇したことに加え、前年度より取り組んでいる廃棄物処理受託価格の是正により利幅は確保され生産工程の効率化や持分法投資利益の増加等と相まって増収増益となりました。新規事業のリチウムイオン二次電池等リサイクル関連においては費用が先行しているものの、大手電池メーカーからの仕入契約、処分業許可を活用した廃電池の処理受託等進捗しました。今後も積極的に経営資源を投下し、次の成長の柱とすべく取り組んでまいります。

以上の結果、資源循環事業の売上高は6,058百万円（前年同期比4.9%増）、セグメント利益は656百万円（前年同

期比111.7%増)となりました。

②グローバル資源循環事業

鉄スクラップビジネスにおいては国内集荷ヤードの拡張等進捗したものの、販売価格の上昇を上回る仕入価格の急激な上昇に加え、取扱量も減少したことから収益を圧迫しました。非鉄スクラップビジネスにおいては当第2四半期会計期間に発生した世界的な輸送用コンテナ不足により海外向け商材の販売は苦戦を強いられるも国内需要取り込みによる取扱量の増加が収益に貢献しました。しかしながら、前年同期に一時的収益として発生した政府専用航空機の影響も大きく、減収減益となりました。新規事業のバイオマス燃料事業は引き続き市場拡大に対応すべく体制強化に努めてまいります。

以上の結果、グローバル資源循環事業の売上高は9,744百万円(前年同期比11.5%減)、セグメント利益は111百万円(前年同期比71.7%減)となりました。

③中古自動車関連事業

主要輸出先国における中古自動車需要は、チリの一部地域におけるロックダウンの長期化や前年同期では好調であった東南アジア向け中古トラック部品の販売の落ち込み等があるものの、前第4四半期会計期間の落ち込みからの回復は早く、中古自動車及び中古自動車部品の取扱量は当初想定を上回って推移しました。物流代行サービスにおいては輸送用コンテナ不足による取扱量の減少に対して販売価格を調整することで収益を確保しました。また、ヤード管理費の見直し等による固定費の削減にも取り組みましたが、前年同期までの回復には至らず減収減益となりました。

以上の結果、中古自動車関連事業の売上高は2,526百万円(前年同期比24.2%減)、セグメント利益は53百万円(前年同期比34.3%減)となりました。

④その他

環境経営コンサルティング事業は、CDP回答及び評価向上支援等に加えTCFD(気候変動関連財務情報開示タスクフォース)対応支援等の継続受注、サーキュラーエコノミー対応支援への注力により順調に推移しましたが、一部の受託業務の検収時期が翌四半期にずれ込んだことから減収減益となりました。

障がい福祉サービス事業は、長野エリアの事業所の利用率が堅調に推移したことに加え、関東エリアの事業所においても同様に堅調に推移したことから増収増益となりました。

以上の結果、その他事業の売上高は166百万円(前年同期比12.2%増)、セグメント利益は37百万円(前年同期比114.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は26,356百万円(前連結会計年度末比442百万円の増加、1.7%増)となりました。流動資産は16,990百万円(前連結会計年度末比460百万円の増加、2.8%増)となりました。これは、現金及び預金が944百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が1,030百万円、商品及び製品が268百万円増加したこと等によります。固定資産は9,365百万円(前連結会計年度末比18百万円の減少、0.2%減)となりました。これは、投資有価証券が159百万円増加したものの、建物及び構築物が69百万円、建設仮勘定が55百万円、機械装置及び運搬具が38百万円減少したこと等によります。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は13,967百万円(前連結会計年度末比66百万円の増加、0.5%増)となりました。流動負債は8,080百万円(前連結会計年度末比580百万円の増加、7.7%増)となりました。これは、短期借入金が260百万円、1年内返済予定の長期借入金が187百万円増加したこと等によります。固定負債は5,886百万円(前連結会計年度末比514百万円の減少、8.0%減)となりました。これは、長期借入金が562百万円減少したこと等によります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は12,389百万円(前連結会計年度末比376百万円の増加、3.1%増)となりました。これは、利益剰余金が342百万円増加したこと等によります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ943百万円減少し、9,298百万円（前連結会計年度末比9.2%減）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が718百万円、減価償却費が371百万円あったものの、売上債権の増加額が1,030百万円、たな卸資産の増加額が343百万円、法人税等の支払額が204百万円等により、506百万円の支出（前年同四半期は2,625百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入が43百万円、有形固定資産の売却による収入が34百万円あったものの、有形固定資産の取得による支出が140百万円、定期預金の預入による支出が43百万円等により、117百万円の支出（前年同四半期は758百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増減額が260百万円、長期借入金の借入れによる収入が153百万円あったものの、長期借入金の返済による支出が528百万円等の支出、配当金の支払額が147百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出が36百万円等により、298百万円の支出（前年同四半期は63百万円の支出）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年6月期の業績予想につきましては、2021年2月8日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり修正を行っております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2020年6月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (2020年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 10,383,947 | 9,439,645 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,344,018 | 3,374,224 |
| 商品及び製品 | 2,615,544 | 2,884,541 |
| 仕掛品 | 12,858 | 12,063 |
| 原材料及び貯蔵品 | 364,342 | 427,104 |
| その他 | 861,513 | 915,397 |
| 貸倒引当金 | △52,447 | △62,293 |
| 流動資産合計 | 16,529,776 | 16,990,684 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 4,498,846 | 4,482,650 |
| 減価償却累計額 | △2,609,911 | △2,663,021 |
| 建物及び構築物（純額） | 1,888,935 | 1,819,628 |
| 機械装置及び運搬具 | 9,582,700 | 9,563,590 |
| 減価償却累計額 | △7,532,687 | △7,552,426 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 2,050,012 | 2,011,164 |
| 土地 | 2,517,061 | 2,517,061 |
| 建設仮勘定 | 199,156 | 143,802 |
| その他 | 439,486 | 441,108 |
| 減価償却累計額 | △365,596 | △374,638 |
| その他（純額） | 73,889 | 66,470 |
| 有形固定資産合計 | 6,729,056 | 6,558,128 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 9,686 | 3,228 |
| その他 | 60,861 | 61,757 |
| 無形固定資産合計 | 70,547 | 64,985 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,289,265 | 2,449,108 |
| 出資金 | 9,280 | 9,280 |
| 繰延税金資産 | 193,568 | 189,757 |
| その他 | 327,608 | 329,283 |
| 貸倒引当金 | △235,613 | △235,086 |
| 投資その他の資産合計 | 2,584,108 | 2,742,342 |
| 固定資産合計 | 9,383,712 | 9,365,456 |
| 資産合計 | 25,913,489 | 26,356,141 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2020年6月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (2020年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,102,215 | 1,145,691 |
| 短期借入金 | 3,540,000 | 3,800,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,595,158 | 1,782,460 |
| リース債務 | 53,722 | 64,601 |
| 未払法人税等 | 251,302 | 248,428 |
| 賞与引当金 | 57,328 | 67,049 |
| その他 | 900,074 | 971,811 |
| 流動負債合計 | 7,499,801 | 8,080,044 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 5,476,615 | 4,914,444 |
| リース債務 | 147,382 | 181,903 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 64,282 | 64,282 |
| 退職給付に係る負債 | 356,312 | 372,584 |
| 資産除去債務 | 168,067 | 168,572 |
| その他 | 188,363 | 185,175 |
| 固定負債合計 | 6,401,022 | 5,886,962 |
| 負債合計 | 13,900,824 | 13,967,006 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,524,830 | 1,524,830 |
| 資本剰余金 | 1,961,456 | 1,959,223 |
| 利益剰余金 | 8,309,117 | 8,651,185 |
| 自己株式 | △217,853 | △194,013 |
| 株主資本合計 | 11,577,550 | 11,941,226 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 85,460 | 103,302 |
| 土地再評価差額金 | 8,633 | 8,633 |
| 為替換算調整勘定 | △16,819 | △29,220 |
| その他の包括利益累計額合計 | 77,274 | 82,715 |
| 新株予約権 | 326,064 | 326,584 |
| 非支配株主持分 | 31,775 | 38,608 |
| 純資産合計 | 12,012,664 | 12,389,134 |
| 負債純資産合計 | 25,913,489 | 26,356,141 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年12月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2020年7月1日 至2020年12月31日) |
|---------------------------------------|--|--|
| 売上高 | 18,691,639 | 16,615,723 |
| 売上原価 | 15,017,357 | 13,203,881 |
| 売上総利益 | 3,674,281 | 3,411,842 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,013,353 | 2,879,773 |
| 営業利益 | 660,928 | 532,069 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3,040 | 958 |
| 受取配当金 | 3,659 | 19,168 |
| 持分法による投資利益 | 86,592 | 138,346 |
| 為替差益 | — | 3,970 |
| 受取賃貸料 | 15,879 | 13,952 |
| 業務受託料 | 3,569 | 4,918 |
| その他 | 15,236 | 27,580 |
| 営業外収益合計 | 127,977 | 208,895 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 7,915 | 18,973 |
| 支払手数料 | 3,294 | 1,266 |
| 為替差損 | 21,273 | — |
| その他 | 7,593 | 7,268 |
| 営業外費用合計 | 40,077 | 27,508 |
| 経常利益 | 748,828 | 713,456 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 5,162 | 13,020 |
| 受取保険金 | 71,663 | 13,514 |
| 受取補償金 | 9,075 | 2,889 |
| 特別利益合計 | 85,901 | 29,424 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 1,525 | 13,986 |
| 固定資産売却損 | 118 | 1,990 |
| 災害による損失 | 26,025 | 8,027 |
| 特別損失合計 | 27,669 | 24,005 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 807,060 | 718,875 |
| 法人税等 | 259,230 | 222,754 |
| 四半期純利益 | 547,830 | 496,120 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △2,036 | 6,833 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 549,866 | 489,286 |

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 547,830 | 496,120 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △19,181 | 17,841 |
| 為替換算調整勘定 | 6,566 | △12,400 |
| その他の包括利益合計 | △12,615 | 5,441 |
| 四半期包括利益 | 535,214 | 501,562 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 537,251 | 494,728 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △2,036 | 6,833 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 807,060 | 718,875 |
| 減価償却費 | 260,650 | 371,147 |
| のれん償却額 | 6,457 | 6,457 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △703 | 9,394 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 20,070 | 16,297 |
| 受取利息及び受取配当金 | △6,700 | △20,126 |
| 支払利息 | 7,915 | 18,973 |
| 為替差損益 (△は益) | 1,742 | 19,950 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | △86,592 | △138,346 |
| 固定資産売却損 | 118 | 1,990 |
| 固定資産除却損 | 1,525 | 13,986 |
| 固定資産売却益 | △5,162 | △13,020 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 1,183,692 | △1,030,459 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 833,831 | △343,689 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △115,521 | 45,391 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 1,765 | 9,721 |
| 受取補償金 | △9,075 | △2,889 |
| 受取保険金 | △71,663 | △13,514 |
| 災害による損失 | 26,025 | 8,027 |
| その他 | △34,850 | 895 |
| 小計 | 2,820,585 | △320,938 |
| 利息及び配当金の受取額 | 6,688 | 20,239 |
| 利息の支払額 | △4,379 | △18,824 |
| 法人税等の支払額 | △185,443 | △204,292 |
| 補償金の受取額 | — | 12,886 |
| 保険金の受取額 | 1,032 | 13,514 |
| 災害損失の支払額 | △13,419 | △9,494 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,625,062 | △506,908 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △700 | △43,132 |
| 定期預金の払戻による収入 | — | 43,600 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △774,775 | △140,753 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 15,730 | 34,731 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △402 | △4,292 |
| その他 | 1,183 | △7,308 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △758,964 | △117,155 |

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日) |
|----------------------|--|--|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 420,000 | 260,000 |
| 長期借入れによる収入 | — | 153,324 |
| 長期借入金の返済による支出 | △221,674 | △528,193 |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | △27,181 | △36,248 |
| 配当金の支払額 | △234,209 | △147,219 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △63,064 | △298,336 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △846 | △21,434 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 1,802,187 | △943,834 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,714,137 | 10,242,492 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 4,516,325 | 9,298,657 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、当社及び連結子会社の税金費用につきましては、原則的な方法により計算しておりましたが、当社及び連結子会社の四半期決算業務の一層の効率化を図るため、第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(2020年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(新型コロナウイルスの感染拡大に伴う会計上の見積り)

当第2四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルスの感染拡大に伴う会計上の見積りに用いた仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|-----------|---------------|-------------|------------|-------------|------------|-------------|-------------------------------|
| | 資源循環 | グローバル 資源循環 | 中古自動車 関連 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,300,299 | 10,936,287 | 3,329,277 | 18,565,864 | 125,774 | 18,691,639 | — | 18,691,639 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 1,475,195 | 70,882 | 4,404 | 1,550,482 | 22,895 | 1,573,377 | △1,573,377 | — |
| 計 | 5,775,494 | 11,007,170 | 3,333,682 | 20,116,347 | 148,670 | 20,265,017 | △1,573,377 | 18,691,639 |
| セグメント利益 | 310,130 | 394,036 | 80,659 | 784,826 | 17,240 | 802,066 | △53,238 | 748,828 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境経営コンサルティング事業、障がい福祉サービス事業を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△53,238千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II. 当第2四半期連結累計期間（自 2020年7月1日 至 2020年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|-----------|---------------|-------------|------------|-------------|------------|-------------|-------------------------------|
| | 資源循環 | グローバル 資源循環 | 中古自動車 関連 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,266,855 | 9,699,156 | 2,497,016 | 16,463,028 | 152,694 | 16,615,723 | — | 16,615,723 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 1,791,404 | 45,187 | 29,422 | 1,866,013 | 14,169 | 1,880,183 | △1,880,183 | — |
| 計 | 6,058,259 | 9,744,344 | 2,526,439 | 18,329,042 | 166,864 | 18,495,907 | △1,880,183 | 16,615,723 |
| セグメント利益 | 656,555 | 111,436 | 53,025 | 821,017 | 37,036 | 858,054 | △144,598 | 713,456 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境経営コンサルティング事業、障がい福祉サービス事業を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△144,598千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。